

第2学年2組 音楽科指導案

平成17年6月17日(金)

指導者 中島きよみ



1 題材名 豊かな合唱表現

2 目標

- (1) お互いに協力し合って、意欲的に合唱活動に取り組む態度を養う。(関心・意欲・態度)
- (2) 歌詞の内容や曲にふさわしい表現を工夫することができる。(音楽的な感受や表現の工夫)
- (3) 発声の基礎を生かし、明確で美しい発音や響きのある声で合唱することができる。(表現の技能)
- (4) お互いの歌声をよく聴き合い、ハーモニーの美しさを味わうことができる。(鑑賞の能力)

3 教材

- 主教材 「マイバラード」 (松井孝夫 作詞・作曲)
- 関連教材 「折り鶴」 (梅原司平 作詞・作曲)
- 「ふりそでの少女」 (梅原司平 作詞・作曲 山本忠生/板倉志伸 編曲)

4 指導観

- 本題材は、パート別練習やハーモニー作りを通して、意欲的に活動に取り組む態度を養い、発声の基礎を生かして発音や響きの美しい合唱表現をすることを目的とする。これは、第2学年及び第3学年の目標の「音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め」ることや、「表現の技能を伸ばし、創造的に表現する能力を高める。」ことにつながるものである。これまでの活動を通して、口形や姿勢、音程や強弱など、基本的なことを学んできた。その定着を図るとともに、クラス全員の心を一つにして豊かな合唱の表現をするのに意義深いと考え、本題材を設定した。
- 本学級は、男子17名、女子22名、計39名の、大変元気がよく明るい学級である。また、男女共に歌うことが好きで、合唱活動に対して意欲的に取り組む姿が見られる。男声は全体的に声がよくでており、音程も安定している。変声期の生徒が数名みられるため、その生徒に対しては、無理な発声をしていない配慮が必要である。女声は、アルトの人数が少ないためかソプラノとのバランスが悪い。一人ひとりの声量はあるようなので、口形や姿勢などの基本練習から指導し、男女ともにバランスのとれた響きを作り上げていく必要性を感じている。
- 本題材においては、混声三部合唱曲「マイバラード」(松井孝夫 作詞・作曲)を主教材として学習する。この曲は、仲間とともに歌う楽しさや喜びを歌った曲である。指導にあたっては、豊かな響きを創り上げるために、パート別練習や全体練習で口形や正しい姿勢を意識して合唱させたい。また、歌詞を書いた模造紙や強弱記号カードを用いて、歌詞の意味や強弱を確認し合ったり、言葉の自然なリズムや抑揚による音の高低などを意識して合唱させたい。さらに、お互いに協力し合って意欲的に合唱活動に取り組むとともに、歌詞の内容や曲にふさわしい表現を工夫できるよう支援していきたい。

5 指導計画(全6時間)

時 間 教 材	第1次		第2次		第3次	
	1	2	3	4	5（本時）	6
マイバラード	――	――				――
折り鶴		――			――	
ふりそでの少女		――		――	――	
指導内容	・模範演奏鑑賞 ・パート別学習 ・旋律把握 ・全体合唱		・パート別学習 ・曲想表現の工夫 ・歌詞解釈 ・全体合唱		・曲想表現の工夫 ・曲の仕上げと録音 ・合唱鑑賞	
評価計画	第1次・口形や姿勢を意識して歌うことができる。 ・旋律を正確に把握し、曲にふさわしい表現で歌うことができる。 第2次・協力して意欲的にパート練習をすることができる。 ・歌詞の内容や曲にふさわしい表現を考えて歌うことができる。 第3次・表現の工夫を生かしながら、全体合唱ができる。 ・感情を込めて歌うことができる。 ・鑑賞活動を通して、合唱表現の違いや良さを感じ取り、今後の課題目標を見つけることができる。					

6 本時の目標

- お互いに協力しながら、意欲的に合唱活動に取り組むことができる。
- 曲にふさわしい表現を考えて歌うことができる。

7 指導過程

段階	学習内容及び学習活動	学習形態	指導上の留意点及び教師の支援・援助	評価・資料等
導入	1 既習曲を歌う。 「折り鶴」 「ふりそでの少女」	一斉 個	◎ 発声練習を兼ね、伸び伸びと歌わせる。 ◎ 口形や姿勢、目線などに気を付けて歌わせる。	ピアノ 楽譜 模造紙
	2 本時の目標を確認する。 お互いに協力して、曲にふさわしい表現を考えて、歌えるようになる。		◎ 本時の目標達成への意欲を持たせるために、板書して確認する。	板書 評価表
展開	3 楽譜を見ながら、強弱記号の確認をする。	一斉 個	◎ 前回の復習を兼ねて、曲にふさわしい表現をするために、楽譜を見ながら強弱記号の確認をする。 ◎ 気をつけるべき点や表現の方法について考えさせる。	板書 模造紙 色ペン 線図カード
	4 パートに分かれて練習をする。	グループ	◎ 発表する場を設け、適宜楽譜に書き込ませる。 ◎ パートリーダーを中心に協力して取り組ませる。 ◎ 各パートの音程や発声、発音などについて、適宜アドバイスをする。 ◎ 自分たちの考えていることや思いが伝わるように歌うために、顔の表情や強弱に気を付けるよう声をかける。	ピアノ 教科書 キーボード
開	5 全体合唱をする。	一斉	◎ 楽譜に書き込んだことを思い出しながら歌わせる。 ◎ パート練習でやったことが全体合唱でも表現できるよう声をかける。 ◎ 自分たちの考えていることや思いが伝わるように歌うために、顔の表情や強弱に気を付けて歌うよう再度声をかける。また、一人ひとりアドバイスをする。	
	6 本時のまとめをする。	個	◎ 本時の目標が達成できたか自己評価をすることにより、本時の学習を振り返らせ、成就感、満足感を味わわせる。 ◎ 本時で改善された点は賞賛し、改善が必要な点は次回改善されるよう声をかける。 ◎ 今日の活動を振り返るために、評価表に本時の反省を記入させる。	評価表
終末	7 次時の予告を聞く。	一斉	◎ 次時は録音し、曲を仕上げることを告げる。	

8 板書計画

「マイバラード」 松井孝夫 作詞・作曲 今日の目標 お互いに協力して、曲にふさわしい表現を考えて、歌えるようになる。	歌詞を書いた模造紙	歌詞を書いた模造紙
---	------------------	------------------